第１０５１回 教 育 委 員 会

平成30年２月14日
県庁舎教育委員室

１　開　　　会　　　午後２時

２　会議録署名委員の指名

３　会期の決定

４　報　　　告

（１）　平成29年度「未来に伝える山形の宝」登録及び「未来に伝える山形の宝」ロゴマークの決定について　（文化財・生涯学習課）

（２）　平成29年度山形県公立高校生のボランティア活動実態調査の結果について　（文化財・生涯学習課生涯学習振興室）

（３）　平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について　（スポーツ保健課）

５　議　　　題

議第１号　　教職員の人事に係る臨時専決処理の承認について　（教職員課）

議第２号　　教職員の人事について　（教職員課）

議第３号　　地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見について

議第３号の１　　山形県立学校職員及び市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の定数に関する条例の一部を改正する条例案　（教職員課）

議第３号の２　　平成30年度山形県一般会計予算のうち教育委員会に関する事務に係る部分　（総務課）

議第３号の３　　平成29年度山形県一般会計補正予算（第５号）のうち教育委員会に関する事務に係る部分　（総務課）

議第３号の４　　山形県職員等に対する退職手当支給条例等の一部を改正する条例案　（総務課）

議第３号の５　　特別職の職員に対する退職手当支給条例の一部を改正する条例案　（総務課）

議第３号の６　　山形県特別職の職員の給与等の支給に関する条例の一部を改正する条例案　（総務課）

議第３号の７　　知事等及び職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例案　（総務課）

議第３号の８　　知事等及び職員の給与の特例に関する条例案　（総務課）

６　閉　　　会

平 成 30 年 2 月 14 日
教育庁文化財・生涯学習課

平成29年度「未来に伝える山形の宝」登録及び
「未来に伝える山形の宝」ロゴマークの決定について

平成 29 年度「未来に伝える山形の宝」登録審査委員会（会長　伊藤清郎）において、４件が登録に適すると県知事へ報告が行われ、平成 30 年２月７日（水）に登録証交付式を実施しました。下記のとおり重点テーマ１件、推奨テーマ３件が新たに登録されましたので報告します。

また、当制度創設５年目を記念し、一般公募したロゴマークにつきましては、「未来に伝える山形の宝」ロゴマーク審査会において、下記の作品が最優秀となりましたので報告します。

記

１　今回登録された団体

○重点テーマ

最上川上流域における長井の町場景観（長井市）

○推奨テーマ

600年以上の歴史と文化を持つ中世城下町の面影偲ぶ街並み
（高擶地域づくり委員会　天童市）

笹野観音堂と西国三十三観音　歴史と伝統の息づく里
（ささの里づくり推進協議会　米沢市）

東北の熊野信仰を後世へ　～百年の想いを、次の百年に～
（太々神楽奉奏百周年記念事業実行委員会　南陽市）

２　ロゴマーク最優秀作品

○最優秀賞

野田　悟史 氏　（千葉県）

３　その他

・山形県内の登録件数は　２２件（重点７、推奨１５）　⇒　２６件（重点８、推奨１８）となります。

・「未来に伝える山形の宝」登録制度とは

文化財の保護を図るとともに、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域活性化や交流の拡大につなげていくことを目的に、地域にのこる有形・無形の様々な文化財を保存・活用する取組みを「未来に伝える山形の宝」として登録します。

添付資料1

「未来に伝える山形の宝」登録制度　平成２９年度登録一覧

（重点テーマ）

取組みの名称	申請団体	主題	取組みの実施エリア	構成文化財	活動内容
最上川上流域における長井の町場景観 （国選定　重要文化的景観　答申）	長井市	最上川上流域にある長井市の宮・小出地区は、江戸時代に最上川舟運の船着場が設置された地区であり、米沢藩の青苧蔵(あおそぐら)、上米蔵(じょうまいぐら)などが置かれ、物資の集散地・商業地として栄えた。往時を継承する商家群、蔵、地割、水路などは最上川舟運の流通・往来に由来する町場景観として重要である。	長井市中央地区の一部	・旧丸大扇屋【県指定】 ・總宮神社【市指定】 ・旧西置賜郡役所【市指定】 ・長沼合名会社【国登録】 ・山一醤油店【国登録】 他	商家、町家等の歴史的建造物、それらを取り巻く水路や樹木等の自然環境のネットワーク及び歴史的な街区及び敷地の形状、最上川舟運に由来する河川、水路、道路等を適切に保護し、現在の生活又は生業を尊重しながら、町場の文化的価値を向上させる。

（推奨テーマ）

取組みの名称	申請団体	主題	取組みの実施エリア	構成文化財	活動内容
600年以上の歴史と文化を持つ中世城下町の面影偲ぶ街並み	高擶地域づくり委員会	高擶地区は、奥羽山脈を水源として形成された豊かな土地である。平安時代に山寺立石寺が開山されると、ここにいくつかの石造文化財に表される豊かな心と信仰心が生み出された。 600年前に斯波義直が居館を置いた後に、高擶地区には城下町が形成されていった。山寺から流れる水と豊富な湧水が堀を満たし、周辺の寺を移して四隅を守らせた。羽州街道、立石寺と慈恩寺を結ぶ東西の道が通り、参勤交代時の大名や旅人が当地を往来した。豪農も多く、今も残る黒板塀や門、見越しの松などはそれを物語っている。 地域住民が主体となり、地域内で高擶の貴重性を啓蒙し認識してもらう活動を行うとともに、地域外への情報発信も実施し多くの人が訪れる地域づくりを推進する取組みを行う。	天童市高擶地区	・清池の石鳥居【県指定】 ・安楽寺の山門【市指定】 ・石佛寺の石仏群【市指定】 ・清池の六面幢【市指定】 ・清池の大日板碑【市指定】 ・八幡神社社叢【市指定】 ・元諏訪神社のハルニレ群【市指定】 ・高擶夜行念佛【市指定】 ・高擶精霊菩提獅子踊り【未指定】 他	①高擶歴史ロマン探訪マップの更新 ②高擶歴史ロマン探訪散策ツアーの実施 ③地域名案内板等の補修新設 ④案内マニュアルの作成 ⑤案内人養成講座の実施 ⑥「清池の石鳥居」敷地の環境整備 ⑦地域の魅力・価値の情報発信
笹野観音堂と西国三十三観音　歴史と伝統の息づく里	ささの里づくり推進協議会	笹野地区は、笹野観音堂を中心に米沢藩以来の歴史に彩られた自然豊かな里山景観が保たれている。笹野観音堂とその関連伽藍群は、歴史的な景観が評価され、米沢市景観重要建造物に指定されている。 創建1200年といわれる観音堂は、天保14年に米沢藩によって再建されており、江戸時代の木造建造物では市内最大のもので、唯一の市指定文化財建造物である。再建の際の絵図面や古文書等も残されている。地区の中心的存在であり、時期ごとに様々なイベントを実施している。 西国三十三観音は一時荒廃したが、地域で再整備に取り組み周知活動を行った結果、来訪者が増えてきている。上杉鷹山が奨励した笹野一刀彫の伝統工芸や住民の手によって整備された自然豊かなトレッキングコースもあることから、歴史と自然景観に親しむことができる。 地域としてこれまでの活動を継続しつつ、さらに活動内容に広がりを持たせたうえで、先人が守り育んできた文化財を活用した地域づくりを推進する取組みを行う。	米沢市笹野地区	・笹野観音堂【市指定】 ・笹野観音堂関連の歴史資料【市指定】 ・笹野観音堂関連伽藍群【未指定】 ・笹野一刀彫【未指定】 ・笹野西国三十三観音【未指定】 ・斜平山トレッキングコース【未指定】	①笹野観音堂の維持管理 ②笹野観音堂の差茅に使用する萱場の整備 ③イベントの開催 ④歴史資料の研究・公開・活用 ⑤三十三観音の定期的な巡礼案内・案内人育成・維持管理 ⑥笹野民芸館での絵付け体験の実施 ⑦トレッキングコースの維持管理
東北の熊野信仰を後世へ～百年の想いを、次の百年に～	太々神楽奉奏百周年記念事業実行委員会	大同元年（806年）に平城天皇の勅命により再建されたと伝えられる東北の伊勢、熊野大社。江戸時代には、門前町の宮内が山形と米沢の中間取次所としてにぎわいを見せた。東北の熊野信仰を伝える境内配置は、江戸時代から変わらないとされ、歴史的にも価値がある。 近年は、少子高齢化、参拝客の減少等により、獅子冠や稚児舞等の継承も危ぶまれていたが、新たに始めた縁結び祈願行事等もあり、少しずつ参拝客が増加してきている。平成33年度に太々神楽が伝わってから100周年を迎えることを契機に、熊野大社と宮内の文化の継承と地域の活性化の機運が高まってきている。この機運を活かし、次の百年に文化を継承していくために、地域と一体となった文化財を活用した取組みを行う。	南陽市宮内地区	・熊野神社拝殿【県指定】 ・二宮神社社殿【県指定】 ・土社神社本殿【県指定】 ・熊野神社の大銀杏【県指定】 ・三宮神社社殿【市指定】 ・熊野大社本殿【未指定】 ・舞楽及稚児舞【未指定】 他	①国指定史跡に向けた調査 ②歴史・文化の普及活動（出前講座、ガイド人養成、パンフレットの作成等） ③新たな観光資源の創出（観光神楽、地元商店街とのイベント開催等） ④文化資産鑑賞のための環境整備 ⑤文化施設の改修

添付資料２

「未来に伝える山形の宝」登録制度ロゴマークについて

１　**募集期間：**平成 29 年６月 14 日（水）～９月 30 日（土）

２　**応募結果：**応募総数　266 作品（応募者数　181 名）

３　**最優秀賞：**野田　悟史さん（３８歳　男性　会社員　千葉県松戸市在住）

４　**作品説明：**

豊かな自然（山や川）とそこに生きる人々と文化、未来へ伝えるべき山形の宝を地上に輝く星のイメージで表現しました。また、シンボルマークとロゴタイプに共通するイメージを配し、一体感を持たせました。

安定感のある山型の 2 等辺三角形を使用し、「自然」・「人」・「文化」を象徴する 3 つの星で宝を表現しています。

５　**選定理由：**

山形県の精神文化を象徴する山々と母なる最上川をモチーフに、地域に伝わる宝を表す星がちりばめられ、制度の意図が明確で端的に表現されている。力強さ、ダイナミックさが感じられ、これからも山形の宝を伝えていこうという意思が伝わる。

平成 29 年度
山形県公立高校生のボランティア活動実態調査

調査概要

【 対 象 者 】 県内公立高校（全日制の課程） 3 年生全員 6,919 名
【 回 答 者 】 6,699 名（回答率 96.8%）
【 調 査 期 間 】 平成 29 年 8 月下旬～9 月中旬
【 調 査 方 法 】 調査票をホームルーム等で配布し回収

結 果

1 高校在学中のボランティア活動経験者率

○ 高校在学中にボランティア活動を行った生徒は 78.4%【78.5%(H28),83.4%(H27)】

・ 学校の活動以外でボランティア活動を行った生徒は 32.7%【33.0%(H28),32.6%(H27)】

・ 学校の活動としてボランティア活動を行った生徒は 72.7%【72.7%(H28),78.7%(H27)】

2 高校生が取り組んでいるボランティア活動分野

○ 最も多くの高校生が体験している活動は、環境整備分野である。(46.1%)。

○ 女子の活動が多い分野は福祉介護分野(20.2%)である。（男子に比べ 13.6 ポイント多い）
男子の活動が多い分野は環境整備分野(52.2%)である。（女子に比べ 11.9 ポイント多い）

○学校以外でボランティア活動に取り組んでいる生徒の方が、多様な活動を経験している。

3 高校生が関心をもつボランティア活動分野

○ 全体として最も関心が高い分野は文化振興分野(33.9%)である。

○ 災害支援分野の数値が減少してきている【22.7%(H29),29.3%(H28),33.2%(H27),33.8%(H26)】。

○ 男子は環境整備(29.1%)・文化振興(25.8%)・体育振興(25.5%)分野に高い関心を持つ。
女子は子育て支援(42.0%)・文化振興(41.6%)・福祉介護(24.7%)分野に高い関心を持つ。

○ ボランティア活動を経験した生徒のほうが、ボランティア活動に対する関心が高い。

分野ごとの活動内容（例）

【福祉介護】福祉施設の清掃，車いすの整備等
【子育て支援】学童保育での子どもとの活動，赤ちゃんのお世話等
【環境整備】ゴミ拾い，除草，駅の清掃，水質調査等
【文化振興】伝統芸能，地域の行事・文化的イベントの手伝い等
【体育振興】地区運動会の手伝い，マラソン大会の手伝い，小中学生へのスポーツ指導等
【災害支援】災害の後片付け・清掃，災害復興の支援等
【 そ の 他 】募金活動等，上記の分類以外

平成 30 年 2 月 5 日

山形県教育委員会
（調査機関：山形県青年の家）

Ⅰ　調査の概要

１.調査目的

高校生によるボランティア活動の実態を明らかにするための基礎資料とすること。

２.調査期間

平成 29 年 8 月下旬～9 月中旬

３.調査対象

山形県内の公立高等学校全日制課程の全 3 年生

４.回答者数

6，699 名（回収率 96.8%）

※ 調査時在籍者数 6,919 名、調査実施日に欠席した生徒は回答していない。

５.調査方法

調査票を全生徒に配布して、ホームルーム等を利用して回答記載の上、回収。

６.調査事項

(1) 高校在学中のボランティア活動経験者率

(2) 高校生が取り組んでいるボランティア活動分野

(3) 高校生が関心をもつボランティア活動分野

７.質問内容　（調査票は巻末に掲載）

高校在学中の活動歴について、下記内容を質問。

(1)　あなたは、学校全体や学年・学級・部活動・委員会などで行われた「ボランティア活動」に参加しましたか。

回答項目：①参加した ②参加しなかった

(2)　あなたは、学校の活動以外の「ボランティア活動」に参加したことがありますか。

回答項目：①参加した ②参加しなかった

(3)　質問(1),(2)のどちらかで「参加した」と答えた人はどの分野のボランティア活動を行いましたか。あてはまるものをすべて選んで下さい。

回答項目:①福祉介護 ②子育て支援 ③環境整備 ④文化振興 ⑤体育振興 ⑥災害支援 ⑦その他

(4)　あなたが興味を持っているボランティア活動は何ですか。あてはまるものをすべて選んで下さい。(特に興味がない人は、0 を選んで下さい。)

回答項目:①福祉介護 ②子育て支援 ③環境整備 ④文化振興 ⑤体育振興 ⑥災害支援 ⑦その他

８.集計処理

(1) 質問への回答がなかった場合はその質問への回答を無効として、それらの者を除いて質問ごとに「有効回答者数」を定めた。

※ 本資料各【 表 】に記載する(　)内の数字は各質問に対する有効回答者数である。

(2)　「経験者率及び関心率」＝「質問への該当者数」÷　「質問への有効回答者数」

(3) 質問 1,2 のいずれかに「①あり」と回答した者を「生活全般における経験者」とした。

Ⅱ 調査の結果

1.高校在学中のボランティア活動経験者率

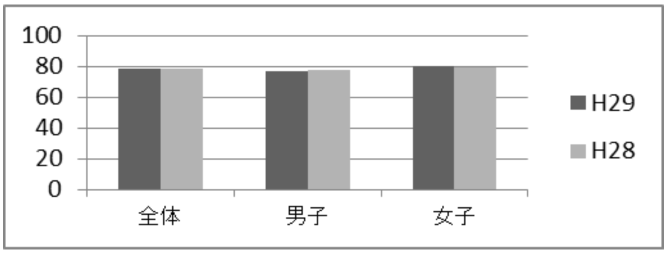
【経験者率】とは、高校在学中にボランティア活動を経験した生徒の割合

(1)生活全般(学校の内外を問わず)における経験者率

○ 高校生活全般での経験者率は 78.4% (H28 年度 78.5%,H27 年度 83.4%,H26 年度 77.8%)。

○ 西置賜(94.3%)、東南置賜(91.5%)、西村山(81.6%)、酒田飽海(81.6%)地区居住生徒の経験者率が高い。

【 グラフ1:生活全般. 男女別の経験者率 】

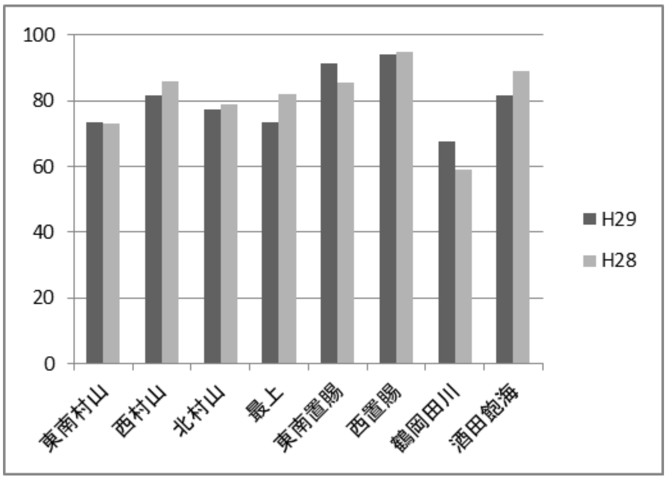


【 表1:生活全般. 男女別の経験者率 】

性 別	H29	H28	増 減
全 体(6,699)	78.4%	78.5%	▲0.1%
男 子(3,202)	76.6%	77.9%	▲1.3%
女 子(3,445)	80.1%	78.9%	1.2%

※( )内は有効回答者数、性別無回答 52 名

【 グラフ2:生活全般. 居住地区別の経験者率 】

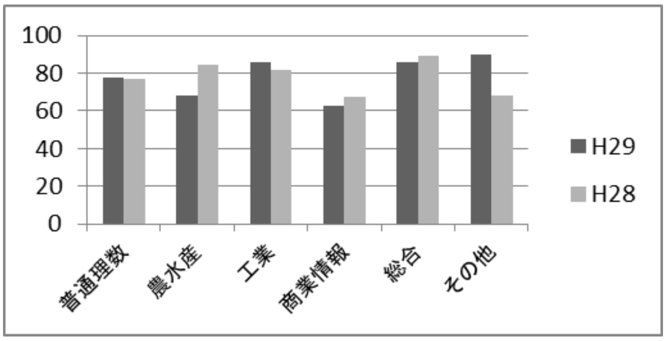


【 表2:生活全般. 居住地区別の経験者率 】

居 住 地 区	H29	H28	増 減
東南村山(1,930)	73.5%	73.0%	0.5%
西 村 山(539)	81.6%	86.1%	▲4.5%
北 村 山(606)	77.2%	79.0%	▲1.8%
最 上(496)	73.4%	82.2%	▲8.8%
東南置賜(967)	91.5%	85.4%	6.1%
西 置 賜(403)	94.3%	94.9%	▲0.6%
鶴岡田川(959)	67.6%	59.1%	8.5%
酒田飽海(776)	81.6%	89.2%	▲7.6%

※居住地区無回答 23 名

【 グラフ3:生活全般. 学科系統別の経験者率 】



【 表3:生活全般. 学科系統別の経験者率 】

学 科 系 統	H29	H28	増 減
普通理数(3,751)	77.7%	77.1%	0.6%
農 水 産(358)	67.9%	84.6%	▲16.7%
工 業(1,072)	85.7%	81.8%	3.9%
商業情報(596)	62.6%	67.7%	▲5.1%
総 合(707)	86.1%	88.9%	▲2.8%
そ の 他(215)	89.8%	67.9%	21.9%

※「その他」学科は、家庭,看護,福祉,音楽,体育の各学科

【 表4:生活全般. 居住市町村の状況 】※35 市町村

経験者率	100%~90%以上	90%~80%以上	80%~70%以上	70%~
市町村数	11	6	15	3

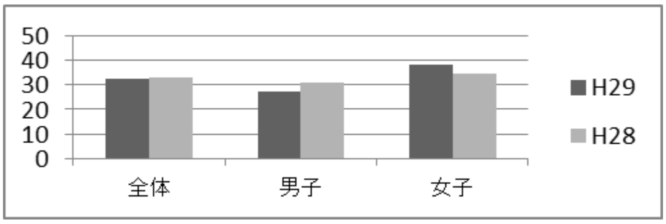
【 表5:生活全般. 各学校の状況 】※分校を含む 46 校

経験者率	100%~90%以上	90%~80%以上	80%~70%以上	70%~60%以上	60%~50%以上	50%~
学 校 数	20	8	6	6	1	5

(2)学校の活動以外における経験者率

- ○ 全体の経験者率は 32.7% (H28 年度 33.0%,H27 年度 32.6%,H26 年度 31.1%)。
- ○ 女子の経験者率が男子より 10.9 ポイント高い。
- ○ 西置賜地区に住んでいる生徒の経験者率(43.7%)が高い。
- ○ 総合学科(47.5%)所属生徒の経験者率が高い。

【 ｸﾞﾗﾌ４:学校の活動以外.男女別の経験者率 】

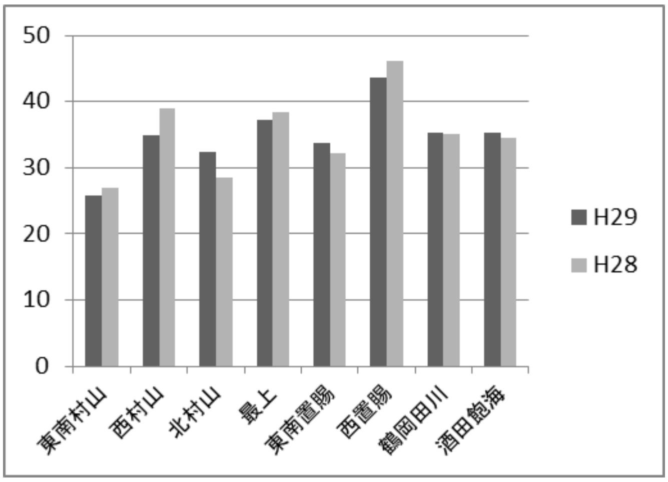


【 表６:学校の活動以外.男女別の経験者率 】

性　別	H29	H28	増 減
全　体(6,699)	32.7%	33.0%	▲0.3%
男　子(3,202)	27.1%	31.0%	▲3.9%
女　子(3,445)	38.0%	34.7%	3.3%

※( )内は有効回答者数、性別無回答 52 名

【 ｸﾞﾗﾌ５:学校の活動以外.居住地区別の経験者率 】

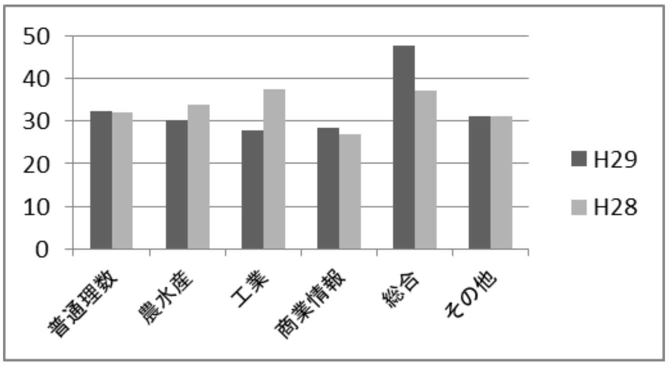


【 表７:学校の活動以外.居住地区別の経験者率 】

居 住 地 区	H29	H28	増 減
東南村山(1,930)	25.9%	27.0%	▲1.1%
西 村 山(539)	34.9%	38.9%	▲4.0%
北 村 山(606)	32.3%	28.5%	3.8%
最　　上(496)	37.3%	38.4%	▲1.1%
東南置賜(967)	33.7%	32.2%	1.5%
西 置 賜(403)	43.7%	46.1%	▲2.4%
鶴岡田川(959)	35.2%	35.1%	0.1%
酒田飽海(776)	35.3%	34.5%	0.8%

※ 居住地区無回答 23 名

【 ｸﾞﾗﾌ６:学校の活動以外.学科系統別の経験者率 】



【 表８:学校の活動以外.学科系統別の経験者率 】

学 科 系 統	H29	H28	増 減
普通理数(3,751)	32.3%	31.9%	0.4%
農 水 産(358)	30.2%	33.8%	▲3.6%
工　　業(1,072)	27.9%	37.5%	▲9.6%
商業情報(596)	28.4%	26.8%	1.6%
総　　合(707)	47.5%	37.0%	10.5%
そ の 他(215)	31.2%	31.0%	0.2%

※「その他」学科は、家庭,看護,福祉,音楽,体育の各学科

【 表９:学校の活動以外.居住市町村の状況 】※35 市町村

経験者率	100%～50%以上	50%～40%以上	40%～30%以上	30%～
市町村数	5	7	14	9

【 表 10:学校の活動以外.各学校の状況 】※分校を含む 46 校

経験者率	100%～60%以上	60%～50%以上	50%～40%以上	40%～30%以上	30%～20%以上	20%～
学 校 数	7	4	7	8	11	9

(3) 学校の活動における経験者率

○ 全体の経験者率は 72.7%（H28 年度 72.7%,H27 年度 78.7%,H26 年度 71.8%）。

【 表 11:学校の活動. 男女別の経験者率 】

性　　別	H29	H28	増 減
全　体(6,699)	72.7%	72.7%	0%
男　子(3,202)	72.4%	73.6%	▲1.2%
女　子(3,445)	73.0%	71.9%	1.1%

※（ ）内は有効回答者数、性別無回答 52 名

【 表 12:学校の活動. 学校所在地区別の経験者率 】

学校所在地区	H29	H28	増 減
東南村山(2,193)	67.0%	65.2%	1.8%
西 村 山(478)	85.2%	91.4%	▲6.2%
北 村 山(441)	78.2%	83.3%	▲5.1%
最　　上(494)	65.4%	78.6%	▲13.2%
東南置賜(983)	88.4%	80.0%	8.4%
西 置 賜(367)	96.2%	96.5%	▲0.3%
鶴岡田川(982)	52.3%	42.3%	10.0%
酒田飽海(761)	77.4%	89.8%	▲12.4%

【 表 13:学校の活動. 学科系統別の経験者率 】

学 科 系 統	H29	H28	増 減
普通理数(3,751)	71.4%	70.8%	0.6%
農 水 産(358)	60.6%	79.7%	▲19.1%
工　　業(1,072)	82.9%	77.9%	5.0%
商業情報(596)	55.9%	61.0%	▲5.1%
総　　合(707)	79.2%	81.9%	▲2.6%
そ の 他(215)	88.8%	66.8%	22.0%

※「その他」学科は、家庭,看護,福祉,音楽,体育の各学科

【 表 14:学校の活動. 各学校の状況 】※分校を含む 46 校

経験者率	100%～90%以上	90%～80%以上	80%～70%以上	70%～60%以上	60%～50%以上	50%～
学 校 数	20	5	7	4	3	7

※　参考　私立高校３年生の調査概要

対象者　　山形県内全日制私立高校３年生全員　在籍数 3,008 名
回答者数 2，830 名（回答率 94.1%）
調査方法・調査内容　　公立高校と同一方法・内容

① 生活全般（学校の内外を問わず）における経験者率　59.9%

② 学校の活動以外における経験者率　22.1%

③ 学校の活動における経験者率　52.7%

２. 高校生が取り組んでいるボランティア活動分野

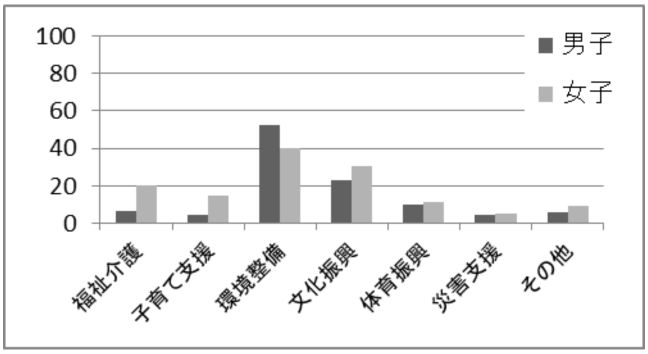
全般的な状況

〇 環境整備分野の経験者率(46.1%)が最も高い。

〇 福祉介護分野は女子経験者率(20.2%)が高い。環境整備分野は男子経験者率(52.2%)が高い。

〇 学校以外でボランティアに活動に取り組んでいる生徒の方が、多様な活動を経験している。
※学校内だけの活動経験者は、福祉介護や子育て支援、文化振興分野での経験が特に少ない。

【 ｸﾞﾗﾌ7 :男女別の経験者率 】

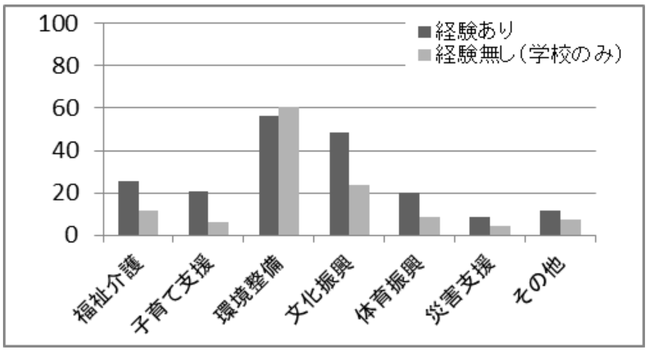


【 表 15:男女別の経験者率 】

分　　野	**全体(6,699)**	男子(3,202)	女子(3,445)
福祉介護	**13.6%**	6.6%	20.2%
子育て支援	**9.8%**	4.4%	14.9%
環境整備	**46.1%**	52.2%	40.3%
文化振興	**26.7%**	22.7%	30.5%
体育振興	**10.4%**	9.9%	11.0%
災害支援	**4.9%**	4.5%	5.3%
その他	**7.4%**	5.6%	9.1%

※( )内は有効回答者数 、性別無回答 52 名

【 ｸﾞﾗﾌ8 :学校以外での経験有無別の経験者率 】



【表 16:学校以外での経験有無別の経験者率 】

分　　野	経験あり (2,188)	経験なし (学校のみ 3,022)	差
福祉介護	25.3%	11.6%	**13.7%**
子育て支援	21.0%	6.3%	**14.7%**
環境整備	56.3%	60.7%	**▲4.4%**
文化振興	48.3%	23.7%	**24.6%**
体育振興	19.9%	8.4%	**11.5%**
災害支援	8.6%	4.6%	**4.0%**
その他	11.6%	7.6%	**4.0%**

【 表 17:居住地区別の経験者率 】※ ( )内は有効回答者数、居住地区無回答 23 名

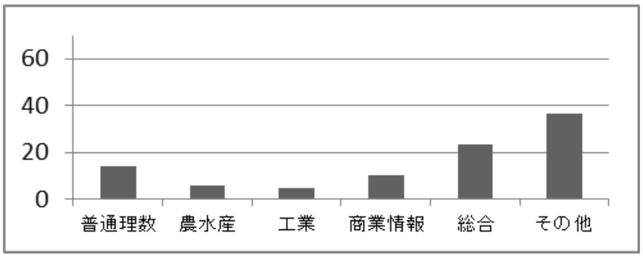
居住地区	福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
東南村山(1,930)	14.0%	9.6%	39.8%	21.8%	11.8%	4.4%	7.8%
西村山(539)	15.2%	12.2%	47.7%	26.3%	13.7%	8.2%	9.8%
北村山(606)	15.5%	13.4%	42.4%	25.7%	12.9%	7.8%	9.1%
最上(496)	7.9%	7.7%	43.8%	29.6%	10.5%	11.3%	10.5%
東南置賜(967)	14.0%	7.1%	54.8%	42.5%	8.1%	6.1%	5.9%
西置賜(403)	27.8%	8.7%	67.7%	25.6%	9.2%	1.2%	6.9%
鶴岡田川(959)	11.1%	13.2%	34.7%	24.4%	7.3%	2.0%	6.7%
酒田飽海(776)	8.6%	7.0%	57.1%	21.8%	10.2%	1.8%	4.3%

【 表 18:学科系統別の経験者率 】

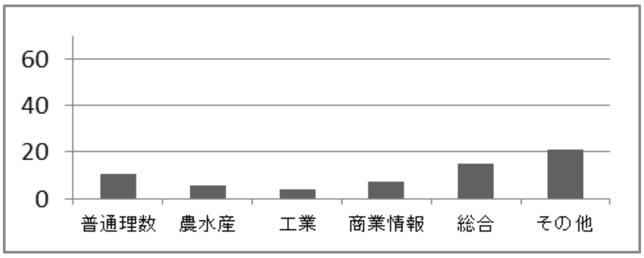
学 科 系 統	福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
普通理数(3,751)	14.1%	10.6%	44.3%	24.9%	10.2%	4.3%	7.4%
農 水 産(358)	5.9%	5.9%	41.1%	20.4%	11.5%	2.5%	9.5%
工 業(1,072)	5.1%	4.1%	67.9%	28.3%	6.0%	4.9%	3.7%
商業情報(596)	10.6%	7.4%	33.6%	22.1%	8.6%	1.8%	6.2%
総 合(707)	23.5%	14.9%	38.6%	40.6%	17.1%	12.6%	12.6%
そ の 他(215)	36.7%	20.9%	37.2%	27.0%	17.2%	2.8%	8.4%

※「その他」学科は、家庭,看護,福祉,音楽,体育の各学科

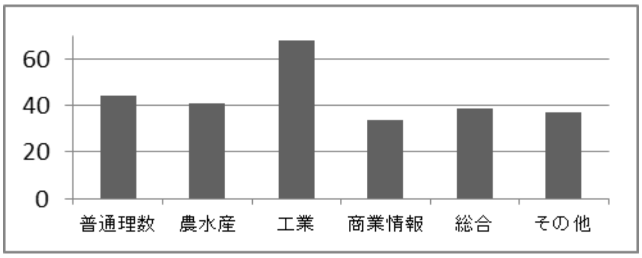
【 ｸﾞﾗﾌ 9:福祉介護分野.学科系統別の経験者率 】



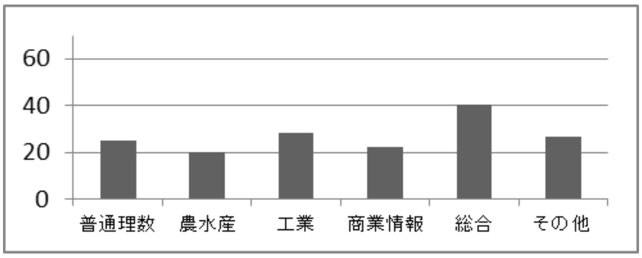
【 ｸﾞﾗﾌ 10:子育て支援分野.学科系統別の経験者率 】



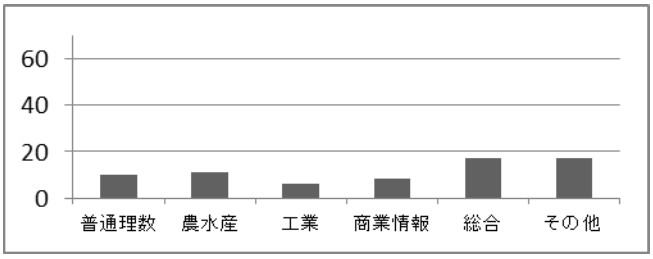
【 ｸﾞﾗﾌ 11:環境整備分野.学科系統別の経験者率 】



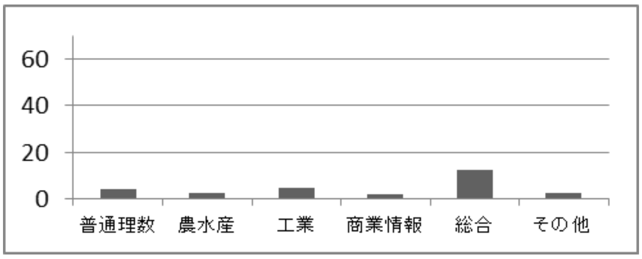
【 ｸﾞﾗﾌ 12:文化振興分野.学科系統別の経験者率 】



【 ｸﾞﾗﾌ 13:体育振興分野.学科系統別の経験者率 】



【 ｸﾞﾗﾌ 14:災害支援分野.学科系統別の経験者率 】



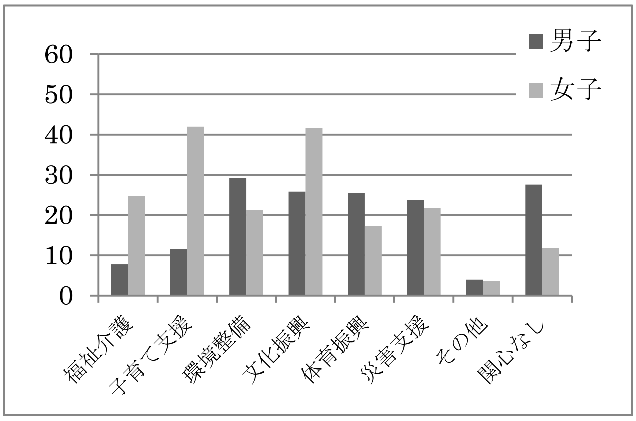
３. 高校生が関心をもつボランティア活動分野

全般的な状況

【関心率】とは、関心を持つ分野として選択した生徒の割合

- ○ 男女の関心率が大きく異なる分野が多い。男子は環境整備(29.1%)・体育振興(25.5%)分野に、女子は子育て支援(42.0%)・文化振興(41.6%)・福祉介護(24.7%)分野に関心が高い。
- ○ 特に関心を持つボランティア分野がない生徒は男子に多い。(15.8 ポイント差)
- ○ ボランティア活動を経験した分野に対する関心の高まりがみられる。
- ○ 災害支援分野への関心率(22.7%)は、この４年間で減少傾向が見られる。
  (H29 年度 22.7%,H28 年度 29.3%,H27 年度 33.2%,H26 年度 33.8%)。

【 ｸﾞﾗﾌ 15:男女別の関心率 】

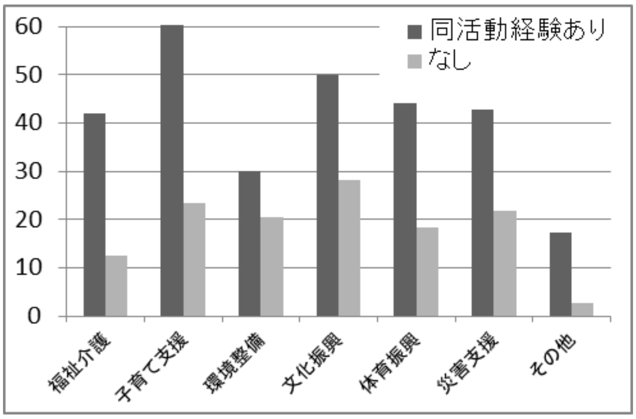


【 表 19:男女別の関心率 】

分　　野	**全体(6,699)**	男子(3,202)	女子(3,445)
福祉介護	**16.6%**	7.8%	24.7%
子育て支援	**27.2%**	11.5%	42.0%
環境整備	**25.1%**	29.1%	21.2%
文化振興	**33.9%**	25.8%	41.6%
体育振興	**21.2%**	25.5%	17.2%
災害支援	**22.7%**	23.8%	21.7%
そ の 他	**3.8%**	3.9%	3.6%
関心なし	**19.5%**	27.6%	11.8%

※ ( )内は有効回答者数、性別無回答 52 名

【 ｸﾞﾗﾌ 16:同活動経験有無別の関心率 】

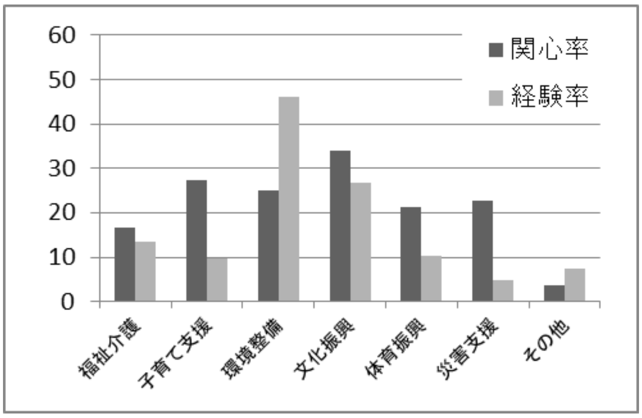


【表 20:同活動経験有無別の関心率 】

分　　野	経験あり	経験なし	**差**
福祉介護(914)	41.9%	12.6%	**29.3%**
子育て支援(657)	63.3%	23.3%	**39.9%**
環境整備(3,091)	30.1%	20.6%	**9.5%**
文化振興(1,787)	49.9%	28.1%	**21.8%**
体育振興(698)	44.1%	18.5%	**25.9%**
災害支援(329)	42.9%	21.7%	**21.2%**
そ の 他(494)	17.4%	2.7%	**14.7%**

※ ( )内は同活動経験者数

【 ｸﾞﾗﾌ 17:分野ごとの関心率と経験者率 】



【表 21:分野ごとの関心率と経験者率 】

分　　野	関心率	経験者率	**差**
福祉介護	16.6%	13.6%	**3.0%**
子育て支援	27.2%	9.8%	**17.4%**
環境整備	25.1%	46.1%	**▲21.0%**
文化振興	33.9%	26.7%	**7.2%**
体育振興	21.2%	10.4%	**10.8%**
災害支援	22.7%	4.9%	**17.8%**
そ の 他	3.8%	7.4%	**▲3.6%**

【 表 22:居住地区別の関心率 】※（)内は有効回答者数、居住地区無回答 23 名

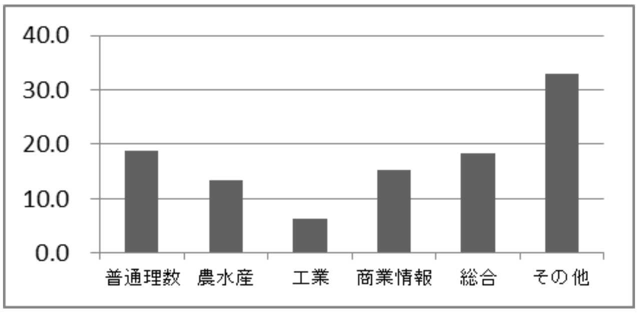
居 住 地 区	福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
東南村山(1,930)	18.7%	30.9%	29.4%	38.7%	27.5%	28.4%	4.2%
西 村 山(539)	16.1%	26.9%	23.6%	27.8%	20.4%	17.6%	3.9%
北 村 山(606)	11.1%	20.1%	17.7%	21.8%	14.9%	13.2%	1.5%
最 上(496)	19.4%	25.8%	28.6%	40.7%	20.2%	25.8%	5.2%
東南置賜(967)	18.0%	28.6%	26.2%	35.2%	20.7%	25.1%	4.1%
西 置 賜(403)	14.1%	23.8%	23.3%	32.5%	15.9%	20.1%	3.5%
鶴岡田川(959)	17.0%	28.4%	22.7%	32.4%	18.4%	20.6%	4.1%
酒田飽海(776)	13.9%	24.4%	21.9%	33.1%	19.1%	19.3%	3.0%

【 表 23:学科系統別の関心率 】※( )内は有効回答者数

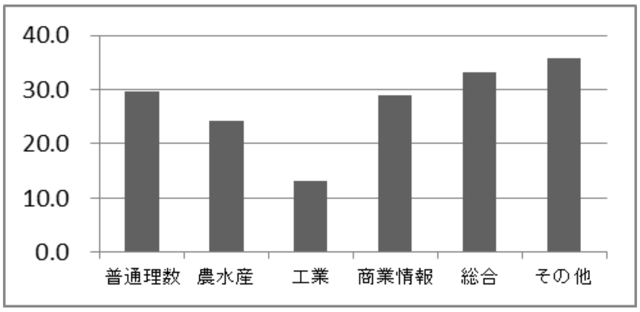
学 科 系 統	福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
普通理数(3,751)	18.8%	29.7%	25.4%	37.4%	20.9%	24.7%	4.2%
農 水 産(358)	13.4%	24.3%	24.9%	25.7%	16.2%	17.0%	3.6%
工 業(1,072)	6.3%	13.1%	28.9%	24.5%	19.6%	21.2%	2.2%
商業情報(596)	15.3%	29.0%	23.3%	34.2%	24.9%	20.0%	2.5%
総 合(707)	18.4%	33.2%	20.1%	35.1%	21.4%	17.5%	5.5%
そ の 他(215)	33.0%	35.8%	21.4%	27.9%	31.2%	30.7%	2.8%

※「その他」学科は、家庭,看護,福祉,音楽,体育の各学科

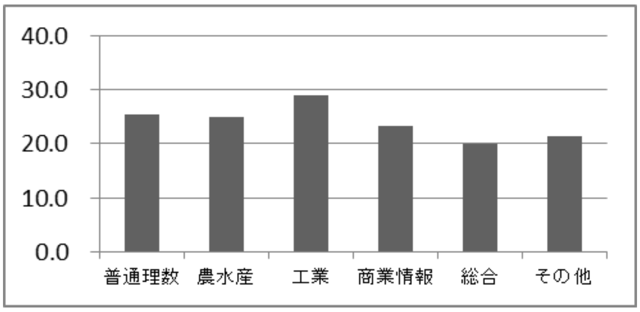
【 ｸﾞﾗﾌ 18:福祉介護分野.学科系統別の関心率 】



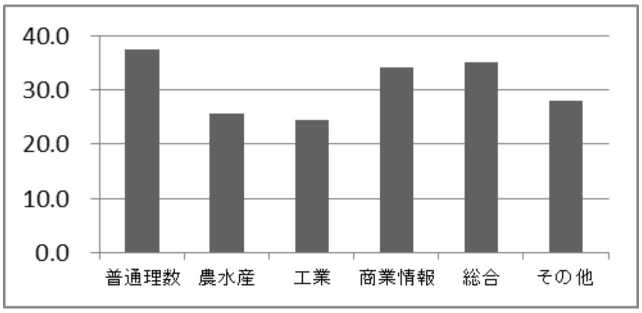
【 ｸﾞﾗﾌ 19:子育て支援分野.学科系統別の関心率 】



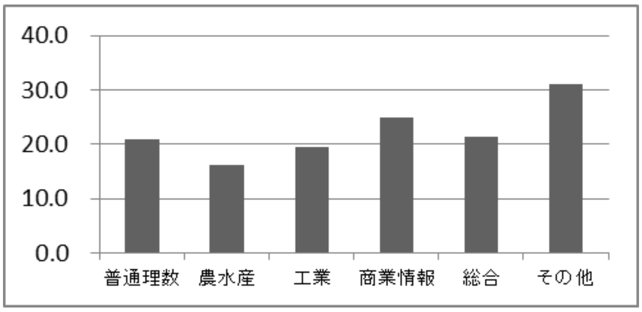
【 ｸﾞﾗﾌ 20:環境整備分野.学科系統別の関心率 】



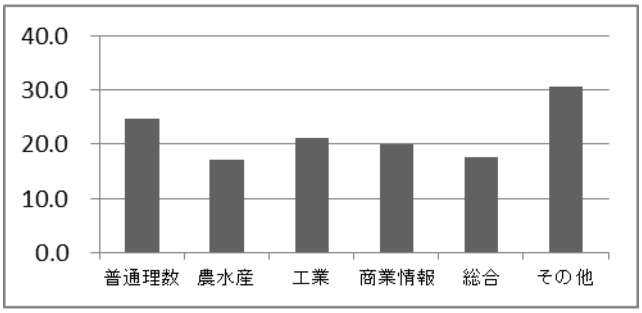
【 ｸﾞﾗﾌ 21:文化振興分野.学科系統別の関心率 】



【 ｸﾞﾗﾌ 22:体育振興分野.学科系統別の関心率 】



【 ｸﾞﾗﾌ 23:災害支援分野.学科系統別の関心率 】



「高校生のボランティア活動」実態調査票

学校名、性別	を記入してください。	高等学校	○で囲む 男 ・ 女

住んでいる市町村名	を記入してください。	市・町・村

高校に入学してから現在までについておたずねします。（あてはまる数字を○で囲んでください。）

質問 1　あなたは、**学校全体や学年・学級・部活動・委員会などで**行われた「ボランティア活動」に参加しましたか。

参加した	参加しなかった
1	2

質問 2　あなたは、**学校の活動以外の**「ボランティア活動」に参加したことがありますか。

参加した	参加しなかった
1	2

質問 3　**質問1,2のどちらかで「参加した」**と答えた人はどの分野の活動を行いましたか。あてはまるものを**すべて**選んで下さい。
（下の分類例を参考にして下さい。参加しなかった人は空欄にし、質問4に進んでください。）

福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
1	2	3	4	5	6	7

○福祉・介護 ・・・・・・高齢者施設でのお年寄りとの活動、福祉施設の清掃など
○子育て支援 ・・・・・学童保育での子どもとの活動、赤ちゃんのお世話など
○環境整備 ・・・・・・ゴミ拾い、除草、駅の清掃、水質調査など
○文化振興 ・・・・・・伝統芸能、地域のお祭りの手伝い、文化的イベントの手伝いなど
○体育振興 ・・・・・・地区運動会・ﾏﾗｿﾝ大会などの手伝い、小中学生へのｽﾎﾟｰﾂ指導など
○災害支援 ・・・・・・自然災害(水害など)の後片付け・清掃、避難訓練の手伝いなど

質問4は、全員が答えて下さい。

質問 4　あなたが**興味を持っているボランティア活動**は何ですか。あてはまるものを**すべて**選んでください。（特に興味が無い人は、0を選んで下さい。）

特に興味ない	福祉介護	子育て支援	環境整備	文化振興	体育振興	災害支援	その他
0	1	2	3	4	5	6	7

以上でアンケートは終了です。 ご協力ありがとうございました。
山形県教育委員会

平成 30 年 2 月 14 日
教育庁スポーツ保健課

「平成29年度全国体力･運動能力、運動習慣等調査」結果について

調査概要について

1　調査の目的

(1) 国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
(2) 教育委員会が自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(3) 各学校が各児童生徒の体力・運動能力、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2　調査の対象

小学校・特別支援学校小学部の５年生
中学校・特別支援学校中学部の２年生

3　調査事項

(1)　実技に関する調査

小学校［８種目］　握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、
ソフトボール投げ

中学校［８種目］　握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
持久走（男子 1500m、女子 1000m）
20m シャトルラン（注＊）、50m 走、立ち幅とび、
ハンドボール投げ

＊20m シャトルラン（往復持久走）：どれだけ長く運動を続けられるかを測るテスト。ゆっくりな速さからだんだん速くなる電子音のリズムに合わせて、２０ｍを往復します

※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択

(2)　質問紙調査　　　運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

4　調査実施日　　平成29年４月から７月末までの期間

平成30年2月14日
スポーツ保健課

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

1　対象　小学校５年生・中学校２年生（全国悉皆調査）

本県実施校及び人数

小学校	249 校	男子　4,616　名	女子　4,473　名	合計　9,089　名
中学校	98 校	男子　4,336　名	女子　4,234　名	合計　8,570　名

＊本調査はH20年度から実施。H22年度から 24年度は抽出調査(H 23年度は震災のため中止)

2　体力・運動能力調査結果

(1)体力合計点(実技調査した8種目の合計点)

		山形県	全国	全国差	H28山形県	前年度との差
小学校5年生	男子	**54.01　点**	54.16　点	**−0. 15**	53.46　点	**+0. 55**
	女子	**56.61　点**	55.72　点	**+0. 89**	55.79　点	**+0. 82**
中学校2年生	男子	**42.26　点**	41.96　点	**+0. 30**	42.50　点	**−0. 24**
	女子	**49.95　点**	49.80　点	**+0. 15**	49.71　点	**+0. 24**

(2)種目別結果 (全国平均値を上回った種目:**＋19/34**　、全国平均値を下回った種目:**－15/34**)

		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
小学校5年生	男子	＋	－	－	＋		＋	－	－	＋
	女子	＋	＋	－	＋		＋	－	＋	＋
中学校2年生	男子	＋	－	－	－	＋	＋	＋	＋	－
	女子	－	－	－	－	＋	＋	＋	－	＋

3　運動習慣、運動やスポーツに関する意識調査結果　（網掛け：全国と比べ良好な県平均）

質問内容		小学校5年生				中学校2年生			
		男子		女子		男子		女子	
		県平均	全国平均	県平均	全国平均	県平均	全国平均	県平均	全国平均
運動習慣の状況	運動部・スポーツクラブへの所属(加入)	76.1%	79.0%	55.5%	51.7%				
	運動部所属 複数回答可 (運動部)					87.1%	78.0%	66.5%	58.0%
	運動部所属 複数回答可 (スポーツクラブ)					19.9%	17.4%	13.4%	10.2%
	1週間の総運動時間の平均(分)(体育の授業を除く)	525.6	614.1	355.7	373.8	925.9	948.5	710.4	682.6
運動やスポーツに関する意識	運動やスポーツをすること(好き・やや好き)	93.8%	93.3%	87.9%	87.4%	90.0%	88.7%	80.8%	78.5%
	運動やスポーツは大切(大切・やや大切)	92.8%	92.4%	88.9%	89.2%	92.5%	90.2%	87.2%	84.2%
	(保健)体育の授業は楽しい(楽しい・やや楽しい)	94.6%	94.4%	90.9%	90.9%	89.7%	87.9%	84.6%	83.0%